

平成30年度 国立国際医療研究センター国府台病院

第1回 摂食障害研修（ベーシックコース）実施要項

1. 目的 摂食障害患者の治療ができる人材の育成
2. 目標 (1) 摂食障害の病態理解を深める
(2) 摂食障害治療の実践を学ぶ
(3) 摂食障害治療をやってみようという気持ちになる
3. 開催日時 平成30年8月4日（土） 12:30～17:00
8月5日（日） 9:00～12:50
4. 開催場所 国府台病院 一般病棟会議室
5. 受講対象者 医師（摂食障害治療に興味のある医師）
コメディカルの方は要相談
6. 受講料 6,000円
7. 定員 15名程度
8. 研修内容 別紙「研修日程表」を参照
9. 申込締切日 平成30年7月20日（金）まで（郵送の場合は、必着）
別紙「受講願書」（様式1号）を記入して頂き、下記の受講願書送付先あてに郵送・ファクシミリ又はメールにて送信願います。受講願書は、メールでお問い合わせ頂ければ、WordもしくはPDFを添付してメールします。
10. 受講決定通知 受講決定通知は、郵送にて平成30年7月27日（金）までに受講決定者のみ送付致しますので、ご了承願います。（通知が遅い場合は、お問い合わせ願います。）
11. その他
(1) 研修では、受講生からの症例提示を募集します。A4 3～4枚程度にまとめて頂き、講師・スタッフや他の受講生でディスカッションします。悩んでいる症例について相談できる良い機会となりますので是非、ご応募ください。
なお、受講生からの症例提示の応募がない場合、あるいはいくつかのテーマでスモールグループディスカッションとするか、あるいは国府台病院の症例提示の予定とします。
(2) 昼食については、各自でご準備下さい。また、院内にコンビニエンスストアや、国府台病院内のカフェもご利用頂けます。

(3) 宿泊については、斡旋しませんので各自でお願いします。参加者の旅費等は、各施設の負担になります。

(4) 敷地内に駐車スペースはありませんので公共の交通機関をご利用下さい。

(5) 研修資料は当日配布します。筆記用具はご持参下さい。

(6) 研修会終了後に場所を変えて懇親会を行ないます。出欠のご記入をお願いします。懇親会の会費は、4,000円程度を予定しています。

【書類送付先・問い合わせ先】

〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1 国立国際医療研究センター国府台病院

TEL:047-375-3501(代表) FAX:047-372-1858(代表)

e-mail : dnaho-t@hospk.ncgm.go.jp

担当：心療内科 田村奈穂

事務担当：心療内科 庄子雅保

平成30年度 国立医療研究センター国府台病院

第1回 摂食障害研修（ベーシックコース）

実施要項

摂食障害治療では、患者が増加しているにもかかわらず、治療者となる担い手の少なさや、入院を受け入れられる施設の少なさが指摘されています。専門治療施設もほとんどないのが現状です。摂食障害を診る治療者が異動すれば、治療できる病院から治療できない病院になってしまうことも多いと言われています。また患者や家族の中には、「病院に行っても診られないと言われ、どの病院に行ったらいいかわからない」と話し、それが、治療開始の遅れや医療不信の一誘因となってしまう方もおられます。

国立国際医療研究センター国府台病院では長年にわたり、我が国でもトップクラスの摂食障害の患者数の外来（昨年一年間のべ外来患者数約1900名）・入院治療（昨年一年間のべ入院患者数約180名）を行っています。その経験から培われた専門性を研修という形でみなさんにお伝えできればと考え、毎年2回行っている多職種向けの「摂食障害研修」を行ってきました。今回は別に医師向けのベーシック研修を新しく企画しました。少しでも多くの医師にその専門領域や科に関わらず、摂食障害治療について理解して頂き、それぞれの担当で治療者のできる役割を担って頂ければと願っています。

摂食障害治療では行き詰まることもあり、摂食障害の治療には専門的知識やスキルが必要です。また多職種のチームでの関わりや、他の医療機関との連携も大事です。摂食障害治療についての研修は少なく、また座学だけでは専門的スキルまでは身に付かないかもしれません。本研修では最新の治療内容についての講義でなく、スモールグループディスカッションを通して、具体的な事項について討論し、治療方針の立て方など専門的スキルの一部を身につけられるよう工夫しました。研修の対象者としましては摂食障害治療に興味のある医師であれば、受講を受け入れます。どうぞご検討の上、実施要項をご参考にお申込み下さい。